工業用水道事業会計予算書

平成26年度新城市工業用水道事業会計予算

(総則)

第1条 平成26年度新城市工業用水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給 水 件 数 5件

(2) 年 間 総 給 水 量 310,250 m³

(3) 基本使用水量 850 ㎡/日

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

		収	入		
第1款	工業	用水道	な益	12,932 千円	
第1項	営	業	収	益	12,063 千円
第2項	営	業外	収	益	863 千円
第3項	特	別	利	益	6 千円
		支			出
第1款	工業	用水道马	事業費	費用	13,149 千円
第1項	営	業	費	用	12,088 千円
第2項	営	業外	費	用	603 千円
第3項	特	別	損	失	448 千円
第4項	予	備		費	10 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 568千円は、過年度分損益勘定留保資金 568千円で補てんするものとする。)。

支出

 第1款
 工業用水道事業資本的支出
 568 千円

 第2項
 企業債償還金
 568 千円

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、1,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

- 第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。
 - (1) 予定支出の各項に不足が生じた場合における各項間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、 又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならな い。

職員給与費

4,278 千円

平成26年2月26日 提出

新城市長 穂 積 亮 次

工業用水道事業会計予算説明書

平成26年度新城市工業用水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収益的収入

款	項	目	予 定 額 備考
1 工業用水道事業収益			千円
			12, 932
	1 営業収益		12, 063
		1 給 水 収 益	12, 062
		2 その他営業収益	1
	2 営業外収益		863
		1 受 取 利 息	60
		2 消費税還付金	1
		3 長期前受金戻入	800
		5 雑 収 益	2
	3 特 別 利 益		6
		3 その他特別利益	6

収益的支出

款	項	目	予 定 額	備考
1 工業用水道事業費用			千円	
			13, 149	
	1 営 業 費 用		12, 088	
		1 原水及び浄水費	4, 996	
		2 配水及び給水費	300	
		3 総 係 費	4, 043	
		4 減 価 償 却 費	2, 649	
		5 資産減耗費	100	
	2 営業外費用		603	
		1 支 払 利 息	300	
		2 消 費 税	300	
		3 雑 支 出	3	
	3 特 別 損 失		448	
		2 減 損 損 失	185	
		5 その他特別損失	263	
	4 予 備 費		10	
		1 予 備 費	10	

資本的収入及び支出

資本的支出

款	項	目	予 定 額	備考
1 工業用水道事業			千円	
資 本 的 支 出			568	
	1 建設改良費		0	
		1 浄水設備整備費	0	
	2 企業債償還金		568	
		1 企業債償還金	568	

平成26年度新城市工業用水道事業会計 予定キャッシュフロー計算書 (H26年4月1日からH27年3月31日まで)

(単位:千円) I 業務活動によるキャッシュ・フロー: 当年度純利益 \triangle 415 減価償却費 2,834 賞与引当金の増減額(減少は△) 225 法定福利費引当金の増減額(減少は△) 38 修繕引当金の増減額(減少は△) \triangle 6 長期前受金戻入額 \triangle 800 受取利息及び受取配当金 \triangle 60 支払利息 300 固定資産除却損 100 未収金の増減額(増加は△) \triangle 126 未払金の増減額 (減少は△) 577 小計 2,667 利息及び配当金の受取額 60 利息の支払額 \triangle 300 業務活動によるキャッシュ・フロー 2,427 Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー 投資活動によるキャッシュ・フロー Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー 建設改良企業債の償還による支出 \triangle 568 財務活動によるキャッシュ・フロー \triangle 568 V 資金増加(減少)額 1,859 VI 資金期首残高 47, 992

49,851

VII 資金期末残高

1 総 括

1	が 打	<u> </u>	職	員 数		給		与	費			
	区	分	特別職	一般職	報酬	給 料	賃 金	職員手当等	計	法定福利費	合	計
			(人)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)
本	損益支弁	勘定職員		()		2, 149		1, 384	3, 533	745		4, 278
年	資本支弁	勘定職員		()								
度	合	計		()		2, 149		1, 384	3, 533	745		4, 278
前	損益支弁	勘定職員		()		2, 167		919	3, 086	690		3, 776
年	資本	勘定職員		()								
度	合	計		()		2, 167		919	3, 086	690		3, 776
比	損益支弁	勘定職員		()		△ 18		465	447	55		502
	資本支弁	勘定職員		()								
較	合	計		()		△ 18		465	447	55		502

*()は、短時間勤務職員の数を外書きしたもの。

			管	理職	扶手	養当	住手	居当	通 手	勤	特殊	勤務		小勤務
職	区 分	•	手	当	手		手		手	当	手	当	手	当
				(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)
員	本 年 月	度		1		1		1		78				151
	前年月	度		1		1		1		78				130
手	比 較			0		0		0		0				21
	区分		期手	末当	勤手	勉当	地 手	域当	宿 手	直当	夜 間 手	勤 務当	休 手	勤 務 当
当	1 %			(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)
等	本 年 月	度		751		400								
守	前年月	度		465		242								
	比 較			286		158								
0	区分		退 手	職当	管 理 特別勤	職 員務手当	単 身 手	赴 任当	児 手	童 当	≅ □	+		
内				(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		
	本 年 月	度								1		1, 384		
訳	前年月	度								1		919		
	比 較									0		465		

(注)本年度の期末勤勉手当には、新会計基準移行に伴う前年度発生額225千円(特別損失)及び翌年度6月期末勤勉手当のうち本年度発生額である賞与引当金繰入額225千円が含まれる。また、法定福利費には、新会計基準移行に伴う前年度発生額38千円(特別損失)及び翌年度6月法定福利費のうち本年度発生額である法定福利費繰入額38千円が含まれる。

2 給料及び職員手当等の増減額の明細

区分	増 減 額 (千円)	増減事は	ョ 別 内 訳 (千円)	説 明	備考
給料	△ 18	3 昇給に伴う 増加分	91		平均昇給率 4.36%
		その他の増減分	△ 109	職員の異動等に伴う 増減分 △ 109千円	
職 員手当等	468	制度改正に 伴う増減分		会計制度改正に伴う 増減分 450千円	期末手当・勤勉手当
		その他の増減分	15	職員の異動等に伴う 増減分 15千円	異動・その他

3 給料及び職員手当等の状況

(1) 職員1人当たり給与

区	分	事	務	•	技	術	職
	平均給料月額(円)						184, 200
平成26年1月1日 現在	平均給与月額(円)						195, 663
	平均年齢(歳)						24. 02
	平均給料月額(円)						177, 300
平成25年1月1日 現在	平均給与月額(円)						196, 977
	平均年齢(歳)						23. 02

*短時間勤務職員を除く。

(2) 初任給

区分	事務・技術職(円)	一般会計の制度
	事伤 化双侧 赋 (口)	一般行政職(円)
高 校 卒	140, 100	140, 100
短 大 卒	152, 800	152, 800
大 学 卒	172, 200	172, 200

平成26年度新城市工業用水道事業予定貸借対照表

		(平成	2 7	年3	月 3	1日)	(単	位:千円)
	75	資	産	\mathcal{O}	部			
1	固定 産 (1)有 定 度 定 変 産 地物額 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	1	177, 9	232 946		4, 137 10, 192 120, 324		
2	二機 械 及 び 装 置 減 価 償 却 累 計 額 有 形 固 定 資 産 合 計 固 定 資 産 合 計 流 動 資 産		57, 6 52, 9 29, 7	980 773	_	23, 207	157, 860	157, 860
	(1)現 金 預 金 (2)未 収 金 流 動 資 産 合 計 資 産 合 計	<i>t</i>	<i>l-t-</i>		حاجلة		49, 851 603	50, 454 208, 314
3	固定負債	負	債	0)	部			
	(1)企 業 債 イ建設改良費等の財源 企業債合計 (2)他会計借入金				_	15, 670	15, 670	
4	イ建設改良費等の財源 イに充てるための他会計借入金 固定負債合計 流動負債 (1)企業債					5,000	20,670	20, 670
	に債計 を を を を を を を を を を を を を				_	762	762 1, 375	
	イ賞 与 引 当 金 口法定福利費引当金 引 当 金 合 計 流 動 負 債 合 計				_	225 38	263 263	2, 400
5	繰 延 収 益 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 負 債 合 計						167, 994 △ 52, 893	115, 101 138, 171
_	Til A A	資	本	\mathcal{O}	部			
6	乗(1)資イ 利イロハニ 金額計金金金金金金金計計計計金金金金金金計計計計 金額 対乗 積				_	300 1, 300 1, 000 22, 067	4, 267 65, 876	70, 143
	利 益 剰 余 金 合 計 剰 余 金 合 計 資 本 合 計 負 債 資 本 合 計							70, 143 208, 314

平成25年度新城市工業用水道事業予定損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営	業	4	収	益						
	(1)	給		水		収		益	11, 155		
	(2)	そ	の	他	営	業	収	益	1	11, 156	
2	営	業	Ę	費	用						
	(1)	原	水	及	び	浄	水	費	4, 203		
	(2)	配	水	及	び	給	水	費	286		
	(3)	総			係			費	3, 801		
	(4)	減	ſī	五	償	ŧ	凯	費	2, 118		
	(5)	資	72	奎	減	耒	毛	費	100	10, 508	
		営		業		利		益			648
3	営	業	外	収	益						
	(1)	受		取		利		息	1		
	(2)	雑			収			益	2	3	
4	営	業	外	費	用						
	(1)	支		払		利		息	302		
	(2)	雑			支			出	3	305	△ 302
		経		常		利		益			346
5	予		備		費						
	(1)	予			備			費	10	10	△ 10
		当	年		ξź	純	利	益			336
		前台	年度	を繰り	越利	益	剰余	金			22, 146
		当年	年度	未处	业分利	利益	剰余	金			22, 482

平成25年度新城市工業用水道事業予定貸借対照表

		城市工業川	月31日)		立:千円)
		資産の	部	(1-	1 4/
1	固定資産 (1)有形固定資産 イ土		4, 322		
	口建物	12, 424			
	同減価償却累計額 ハ構 築 物	1, 968 177, 946	10, 456		
	同減価償却累計額 二機 械 及 び 装 置	49, 272 52, 980	128, 674		
	同減価償却累計額	24, 754	28, 226		
2	有形固定資産合計 固定資産合計流動資産			171, 678	171, 678
4	(1)現 金 預 金			47, 992	
	(2)未 収 金 流 動 資 産 合 計			477	48, 469
	資 産 合 計				220, 147
3	固 定 負 債	負債の	部		
	(1)引 当 金 イ 修 繕 引 当 金		6		
	引 当 金 合 計			6	
4	固定負債合計流動負債				6
-	(1)未 払 金			798	
	流 動 負 債 合 計				798 804
		資本の	部		
5	資本金	貝 个 ળ	цh		
	(1)借 入 資 本 金 イ 他 会 計 借 入 金		22,000		
	借入資本金合計			22,000	
6	資本金合計 剰余金				22, 000
	(1)資本剰余金		7 900		
	イ 受 贈 財 産 評 価 額 ロ エ 事 負 担 金		7, 288 164, 973		
	資本剰余金合計(2)利 益 剰 余 金			172, 261	
	イ 減 債 積 立 金		300		
	口利 益 積 立 金ハ建設改良積立金		1, 300 1, 000		
	二 当年度未処分利益剰余金		22, 482	0.7.00.7	
	利 益 剰 余 金 合 計 剰 余 金 合 計			25, 082	197, 343
	資 本 合 計				219, 343
	負債・資本合計			:	220, 147

注記

I. 重要な会計方針

当年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表を作成している。

1 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 (リース資産を除く。)

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

建物15年~65年構築物10年~60年機械及び装置10年~20年

- 2 引当金の計上方法
- (1)退職給付引当金

職員の退職手当は、「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に基づき、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見 込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当・勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当事業年度 末における支出見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

3 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

Ⅱ. 予定貸借対照表関連

みなし償却制度の廃止に伴う移行処理について

平成 26 年 3 月 31 日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額のうち、該当資産との対応関係の把握が不可能であったものについては、平成 26 年 3 月 31 日以前に取得又は改良した全ての資産(補助金等を充てずに取得又は改良したことが明らかな資産は除く。)を対象とした按分等の方法を用いて合理的に整理している。

Ⅲ. セグメント情報の開示

新城市工業用水道事業は、報告セグメントが1つのため、記載を省略している。

Ⅳ. 減損損失

減損損失の認識及び測定について

当事業年度において、以下の資産グループについて、減損損失を計上する。

用途	資産の種類	所 在 地
遊休資産	土 地	新城市八束穂字四反田 1359
遊休資産	土 地	新城市八束穂字モリ下 1428

減損損失を認識するにあたっては、原則として、事業用資産については水道事業を 基準として独立したキャッシュ・フローを生成する最小単位にグループ化し、遊休資 産については、個別資産ごとにグループ化している。

上記資産グループは、帳簿価額が回収可能価額を下回るため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 185 千円を減損損失として計上した。その内訳は、土地 185 千円となっている。

なお、当該資産グループの回収可能価額は、売却可能価額により測定しており、土地については他の転用や売却が困難なことから、備忘価額まで減額している。

平成26年度新城市工業用水道事業会計予算事項別明細書

収益的収入

(1 款) 工業用水道事業収益

1 項 営業収益

目	本 年 度	前 年 度	比較
	千円	千円	千円
1 給 水 収 益	12, 062	11, 727	335
2 その他営業収益	1	1	0
計	12, 063	11, 728	335

2 項 営業外収益

1受取利息	60	1	59
2 消 費 税 還 付 金	1	1	0
3 長期前受金戻入	800	0	800
5 雑 収 益	2	1	1
計	863	3	860

3 項 特別利益

3 その他特別利益	6	0	6
計	6	0	6
収益的収入合計	12, 932	11, 731	1, 201

収益的支出

(1 款) 工業用水道事業費用

1 項 営業費用

本年度 前年度 比較 本年度の財源内訳 特定財源
日 本年度 則年度 比較 国・県支出金 地方債 その他 財源 千円 4,996 1 原水及び浄水費 4,996 4,394 602 602 4,996 2 配水及び給水費 300 300 0 300
国・県
大田金 大田金 千円 十円 十円 十円 十円 十円 十円
1 原水及び浄水費 4,996 4,394 602 4,996 2 配水及び給水費 300 300 0 300
2 配水及び給水費 300 300 0 300
3 総 係 費 4,043 3,802 241 4,043
4 減価償却費 2,649 2,118 531 2,649
5 資産減耗費 100 100 0 100
計 12,088 10,714 1,374 12,088

	節		説	明
区	分	金額	17亿	1 77
		千円		
1 水 道	料金	12, 062	給水件数 基本使用水量 使用水量料金 消費税相当額	5件 850㎡/日 11, 169千円 893千円
1 雑	収 益	1		
	_			

1受取利息	60	預金利息
1 消費税還付金	1	
6 工事負担金	800	
1 賞与引当金戻入益	1	
6 その他雑収益	1	

99 その他特別利益	6	

節		説明
区分	金額	ής ,91
	千円	
9 備 消 品 費	7	事務用消耗品費
14 委 託 料	1, 054	設備点検、草刈清掃、水質検査委託
16 賃 借 料	58	借地料
17 修 繕 費	300	施設修繕費
21 動 力 費	3, 577	電気料金
17 修 繕 費	300	施設修繕費
2 給 料	2, 149	職員1名分
3 職 員 手 当 等	934	職員1名分
4 賞与等引当金繰入額	263	
6 法定福利費	669	職員1名分
7 旅 費	12	普通旅費
14 委 託 料	5	派出業務委託料
15 手 数 料	7	預金残高証明手数料
16 賃 借 料	4	有料道路通行料金
34 有形固定資産減価償却費	2, 649	構築物、機械及び装置
35 固定資産除却費	100	構築物、機械及び装置

2 項 営業外費用

				本 年	度の	財 源	内 訳
目	本年度	前年度	比較	特	定財	源	
	平 中 及	削 十 及	11 戦	国・県 支出金	地方債	その他	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
1支払利息	300	302	\triangle 2				300
2 消 費 税	300	168	132				300
3 雑 支 出	3	3	0				3
計	603	473	130				603

3 項 特別損失

2 減 損 損 失	185	0	185		185
5 その他特別損失	263	0	263		263
計	448	0	448		448

4 項 予備費

1 予 備 費	10	10	0		10
計	10	10	0		10
収益的支出合計	13, 149	11, 197	1, 952		13, 149

資本的支出

(1 款) 工業用水道事業資本的支出

0 項 建設改良費

				本 年	度の	財 源	内 訳
目	本 年 度	前年度	比較	特	定財	源	. 前几
	平 十 反	刊 十 及	₽L ¥X	国・県 支出金	地方債	その他	一般 財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
0 浄水設備整備費	0	4, 515	\triangle 4, 515				0
計	0	4, 515	\triangle 4, 515				0

2 項 企業債償還金

1 企業債償還金	568	0	568		568
計	568	0	568		568
資本的支出合計	568	4, 515	△ 3,947		568

	節			説明	HH
区	分	金	額	克 龙	57
37 企 業 6	責 利 息		千円 300		
40 消	費 税		300		
41 その他	雑支出		3		

50 減 損	損失	185	
2 手 当	等	263	

54 予	備	費	10	

	節			章者 用日	HH	
区	分	金	額	- 説 明		
			千円			

47 償	還	元	金	568	